

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	舞台ワークショップ事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	公民館			
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	中西 直人			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	舞台芸術を学ぼうとする若者	意図	文化会館を活用した舞台操作の体験学習及び文化芸術活動の場を提供。
事業内容	東葛飾地区の高校演劇部員などが、文化会館ホールを活用して、照明や音響など舞台操作の体験学習を行い、自ら舞台を操作しながら演劇やミュージカルなどの舞台芸術発表できる場を提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	高校演劇部との協働による公民館事業として、舞台ワークショップを実施できるようになった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	高校演劇20分シアター参加者数	500	600	850	人	↑↑↑	
②	舞台ワークショップ参加者数	573	263	643	人	↑↑↑		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			1,368,100	923,000				
事業費(b)(円)								
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)								
人役・職員(人)			0.15	0.10				
人役・再任用(人)			0.10	0.10				
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	舞台ワークの多様な機会を提供していく。	③取組の課題	当該事業を毎年継続しながら、ホール事業の活性化に繋げていく。
②今年度(H28)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台照明などの操作を体験学習する「舞台ワークショップ」を実施。 ・地域の高校演劇部員を対象とした「流山高校演劇フェスティバル」を実施。 	④今後の改善計画	舞台ワークの多様な機会を提供していく。また、流山高校演劇フェスティバルについては、引き続き対象地域を拡大し実施出来るよう努める。